

(別添)

2018年 11月 22日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

製品安全センター大阪本部

News Release

「暖房器具の事故により5年間で18名死亡」 ～誤使用・不注意による火災を防ぎましょう～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、暖房器具の事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2013年度から2017年度までの5年間に合計252件ありました。

(1) 年度別 府県別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※2}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度	2 [1]	10 [7]	16 [12]	15 [8]	3 [1]	1 [1]	47 [30]
	2014年度	3 [3]	9 [5]	19 [10]	21 [13]	7 [7]	2 [1]	61 [39]
	2015年度	3 [2]	8 [5]	12 [9]	7 [5]	6 [2]	0 [0]	36 [23]
	2016年度	2 [2]	3 [2]	24 [16]	21 [12]	4 [4]	2 [2]	56 [38]
	2017年度	3 [3]	10 [7]	18 [15]	16 [10]	3 [3]	2 [2]	52 [40]
合計	事故件数	13	40	89	80	23	7	252
	火災件数	[11]	[26]	[62]	[48]	[17]	[6]	[170]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[] は火災件数。

(2) 製品別 府県別 事故発生件数

表 2 に「製品別 府県別 事故発生件数」を示します。

表 2 製品別 府県別 事故発生件数

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
電気ストーブ	4 [3]	11 [8]	37 [27]	25 [15]	7 [4]	3 [3]	87 [60]
石油ストーブ	3 [3]	5 [5]	12 [11]	8 [8]	9 [9]	2 [2]	39 [38]
電気マット・カーペット	0 [0]	5 [3]	9 [7]	9 [6]	2 [1]	0 [0]	25 [17]
ゆたんぼ	1 [0]	4 [1]	7 [2]	12 [1]	0 [0]	0 [0]	24 [4]
石油ファンヒーター	4 [4]	7 [6]	4 [3]	5 [5]	1 [1]	0 [0]	21 [19]
電気ファンヒーター	1 [1]	1 [1]	3 [3]	7 [6]	1 [0]	2 [1]	15 [12]
電気毛布	0 [0]	1 [1]	5 [2]	2 [0]	1 [1]	0 [0]	9 [4]
電気式床暖房	0 [0]	1 [0]	3 [1]	2 [2]	1 [0]	0 [0]	7 [3]
こたつ	0 [0]	1 [0]	3 [1]	2 [1]	0 [0]	0 [0]	6 [2]
ガスファンヒーター	0 [0]	1 [1]	2 [2]	2 [1]	0 [0]	0 [0]	5 [4]
ガスストーブ	0 [0]	2 [0]	1 [1]	1 [1]	1 [1]	0 [0]	5 [3]
その他	0 [0]	1 [0]	3 [2]	5 [2]	0 [0]	0 [0]	9 [4]
合計	13 [11]	40 [26]	89 [62]	80 [48]	23 [17]	7 [6]	252 [170]

(3) 被害状況

表3に「府県別 被害状況」を示します。

表3 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡	0 (0) [0]	0 (0) [0]	9 (10) [8]	5 (5) [5]	3 (3) [3]	0 (0) [0]	17 (18) [16]
	重傷	0 (0) [0]	0 (0) [0]	7 (7) [4]	6 (8) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	13 (15) [4]
	軽傷	3 (4) [3]	4 (6) [4]	8 (11) [4]	12 (15) [6]	1 (2) [1]	0 (0) [0]	28 (38) [18]
物的被害	拡大被害	9 [8]	22 [14]	46 [37]	40 [30]	14 [12]	5 [5]	136 [106]
	製品破損	1 [0]	14 [8]	18 [9]	17 [7]	5 [1]	2 [1]	57 [26]
被害なし		0	0	1	0	0	0	1
合計	事故件数	13	40	89	80	23	7	252
	被害者数	(4)	(6)	(28)	(28)	(5)	(0)	(71)
	火災件数	[11]	[26]	[62]	[48]	[17]	[6]	[170]

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

2. 事件事例の概要

(1) 電気ストーブに関する事故

2017年4月28日（大阪府、70歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の電気ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

電気ストーブにタオルを近接させて乾かしていたため、放射熱によりタオルが発火したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「燃えやすい物の近くで使用しない。乾燥等他の用途に使用しない。火災のおそれがある。」旨、記載されている。

(2) 石油ストーブに関する事故

2017年12月1日（和歌山県、50歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

給油のため石油ストーブからカートリッジタンクを取り出したところ、ふたが外れて漏れた灯油が引火し、カーペットを焼損した。

【事故の原因】

石油ストーブの給油時消火装置は正常に作動していたが、被害者がカートリッジタンクのふたを確実に締めていなかったため、カートリッジタンクを引き上げた際にふたが外れ灯油が漏れ、漏れた灯油が高温状態の燃焼部にかかり、火災に至ったものと考えられる。

なお、本体及び取扱説明書等には「ふたは確実に締める」旨、記載されている。

3. 暖房器具の事故の実験映像について

暖房器具の事故の再現実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

担当者：リスク評価広報課 柿原、佐藤、向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617